

スーパーマーケット販売統計調査

12月実績速報版・11月実績確報版

2013年年間集計(パネル306)

- 速報版(パネル306)について ※2013年4月実績よりパネル企業変更毎月「同一企業306社(パネル)」を対象として集計します。
- 確報版(パネル306)について ※2013年4月実績より集計定義を変更前月に集計した速報版(パネル306)について、より精度の高い集計を行い、改めて確報版として公表します。

【集計項目】

- 商品分類別売上高:全店売上高(万円)・構成比(%)・全店・既存店前年同月比(%)
- エリア別集計:全店売上高(万円)・全店・既存店前年同月比(%)
- 保有店舗別集計:全店売上高(万円)・全店・既存店前年同月比(%)
- 集計企業数、総店舗数、総売場面積
- 既存店総売上高(万円)、店舗平均月商、売場1㎡あたり売上高

※前年同月比(全店):前年同月営業の全店舗と当月営業の全店舗における比較

※前年同月比(既存店):前年同月と当月共に営業の店舗における比較

スーパーマーケット販売統計調査における商品分類

総売上高	食品合計	生鮮3部門	青果	野菜類、果実類、花
			水産	魚介類、塩干物
			畜産	食肉類、肉加工品
		惣菜		惣菜、折詰料理、揚物、弁当、おにぎり、寿司、インスタペーパーカーリー、ファーストフード
		日配		豆腐、こんにゃく、納豆、練製品、佃煮、漬物、パン、卵、乳製品、生菓子、冷凍食品、アイスクリーム
		一般食品		調味料、瓶詰詰、乾物、米、小麦粉、乾麺、嗜好品、菓子、酒類
	非食品		日用雑貨品、医薬・化粧品、家具インテリア、家電製品、婦人衣料、紳士衣料、文具、玩具	
	その他		テナント売上高、タバコ・ギフト販売、その他取次業(DPE、クリーニング、宅配便、レンタル、チケット販売等)	

スーパーマーケット販売統計調査におけるエリア分類

北海道・東北エリア	北海道、青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島
首都圏エリア	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨
東海エリア	岐阜、静岡、愛知、三重
北信越エリア	福井、石川、富山、長野、新潟
関西エリア	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
中国・四国エリア	鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知
九州・沖縄エリア	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

2014年1月21日

日本スーパーマーケット協会
 オール日本スーパーマーケット協会
 一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査に関するお問い合わせ

tokei@super.or.jp

2014年1月21日

日本スーパーマーケット協会
 オール日本スーパーマーケット協会
 一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査
 2013年12月実績 速報版 (パネル306)

	全店売上高 (万円)	構成比	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
総売上高	94,085,225	100.0%	103.3%	100.4%
食品合計	81,438,188	86.6%	104.0%	100.9%
生鮮3部門合計	31,324,756	33.3%	106.3%	103.2%
青果	11,942,095	12.7%	108.9%	105.6%
水産	9,383,388	10.0%	103.2%	100.3%
畜産	9,999,273	10.6%	106.4%	103.3%
惣菜	8,394,937	8.9%	105.4%	101.8%
日配	16,941,034	18.0%	103.8%	100.8%
一般食品	24,777,461	26.3%	100.8%	98.0%
非食品	8,582,772	9.1%	98.6%	97.2%
その他	4,064,265	4.3%	99.3%	98.8%

エリア別集計

エリア	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
北海道・東北エリア	15,850,496	50	104.2%	101.9%
首都圏エリア	35,747,257	89	104.7%	100.4%
北信越エリア	6,426,038	28	102.9%	100.2%
東海エリア	4,665,427	33	99.7%	99.1%
関西エリア	18,962,454	38	101.5%	99.1%
中国・四国エリア	7,175,848	39	102.2%	100.6%
九州・沖縄エリア	5,257,705	29	102.9%	101.9%

保有店舗数別集計

保有店舗数	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
1~3店舗	1,215,786	65	97.5%	98.7%
4~10店舗	5,225,692	88	100.1%	100.7%
11~25店舗	12,565,899	70	100.5%	99.9%
26~50店舗	19,090,902	44	102.2%	100.2%
51店舗以上	55,986,946	39	104.6%	100.6%
集計企業数 (社)	306	既存店総売上高 (万円)	91,636,903	
総店舗数 (店舗)	7,298	店舗平均月商 (万円)	12,892	
総売場面積 (㎡)	11,621,033	売場1㎡あたり売上高 (万円)	8.1	

※売上高は千円以下、構成比・前年同月比は小数点第2位以下四捨五入

2014年1月21日

日本スーパーマーケット協会
 オール日本スーパーマーケット協会
 一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査
 2013年11月実績 確報版 (パネル306)

	全店売上高 (万円)	構成比	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
総売上高	77,342,661	100.0%	104.4%	101.5%
食品合計	66,864,601	86.5%	105.3%	102.1%
生鮮3部門合計	25,226,656	32.6%	108.5%	105.2%
青果	10,073,850	13.0%	112.8%	109.2%
水産	6,742,274	8.7%	103.5%	100.5%
畜産	8,410,531	10.9%	107.8%	104.6%
惣菜	6,881,628	8.9%	106.2%	102.6%
日配	14,669,813	19.0%	105.1%	102.0%
一般食品	20,086,504	26.0%	101.4%	98.4%
非食品	7,172,238	9.3%	99.4%	98.3%
その他	3,305,822	4.3%	97.6%	98.2%

エリア別集計

エリア	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
北海道・東北エリア	12,346,308	50	104.0%	101.4%
首都圏エリア	29,322,542	89	107.3%	102.8%
北信越エリア	4,978,105	28	104.1%	102.5%
東海エリア	4,062,942	33	100.7%	100.3%
関西エリア	16,751,574	38	101.7%	99.6%
中国・四国エリア	5,764,258	39	104.2%	102.4%
九州・沖縄エリア	4,116,932	29	102.0%	100.5%

保有店舗数別集計

保有店舗数	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
1~3店舗	952,496	65	99.7%	100.8%
4~10店舗	4,188,467	87	102.2%	102.2%
11~25店舗	10,174,400	71	101.5%	100.7%
26~50店舗	14,814,664	44	104.0%	102.0%
51店舗以上	47,212,633	39	105.4%	101.5%
集計企業数 (社)	306	既存店総売上高 (万円)	74,334,735	
総店舗数 (店舗)	7,288	店舗平均月商 (万円)	10,612	
総売場面積 (㎡)	11,617,310	売場1㎡あたり売上高 (万円)	6.7	

※売上高は千円以下、構成比・前年同月比は小数点第2位以下四捨五入

2014年1月21日

日本スーパーマーケット協会
 オール日本スーパーマーケット協会
 一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査
 2013年間集計（1月～12月） 速報版（パネル306）

	全店売上高（万円）	構成比	前年同月比 （全店）	前年同月比 （既存店）
総売上高	948,421,849	100.0%	101.7%	99.3%
食品合計	833,687,395	87.9%	102.2%	99.5%
生鮮3部門合計	312,597,720	33.0%	103.0%	100.3%
青果	127,181,386	13.4%	103.5%	100.7%
水産	86,878,712	9.2%	101.4%	98.8%
畜産	98,537,622	10.4%	103.9%	101.1%
惣菜	86,343,091	9.1%	103.1%	100.1%
日配	179,159,356	18.9%	101.8%	99.2%
一般食品	255,587,228	26.9%	101.1%	98.5%
非食品	78,428,697	8.3%	99.0%	97.7%
その他	36,305,757	3.8%	98.9%	98.8%

エリア別集計

エリア	全店売上高（万円）	集計対象企業数	前年同月比 （全店）	前年同月比 （既存店）
北海道・東北エリア	153,548,986	50	102.7%	99.5%
首都圏エリア	355,978,076	89	102.9%	99.6%
北信越エリア	62,642,572	28	100.9%	99.5%
東海エリア	49,933,292	33	98.2%	98.2%
関西エリア	203,357,476	38	100.5%	98.6%
中国・四国エリア	71,636,985	39	101.1%	99.0%
九州・沖縄エリア	51,324,462	29	101.0%	99.8%

保有店舗数別集計

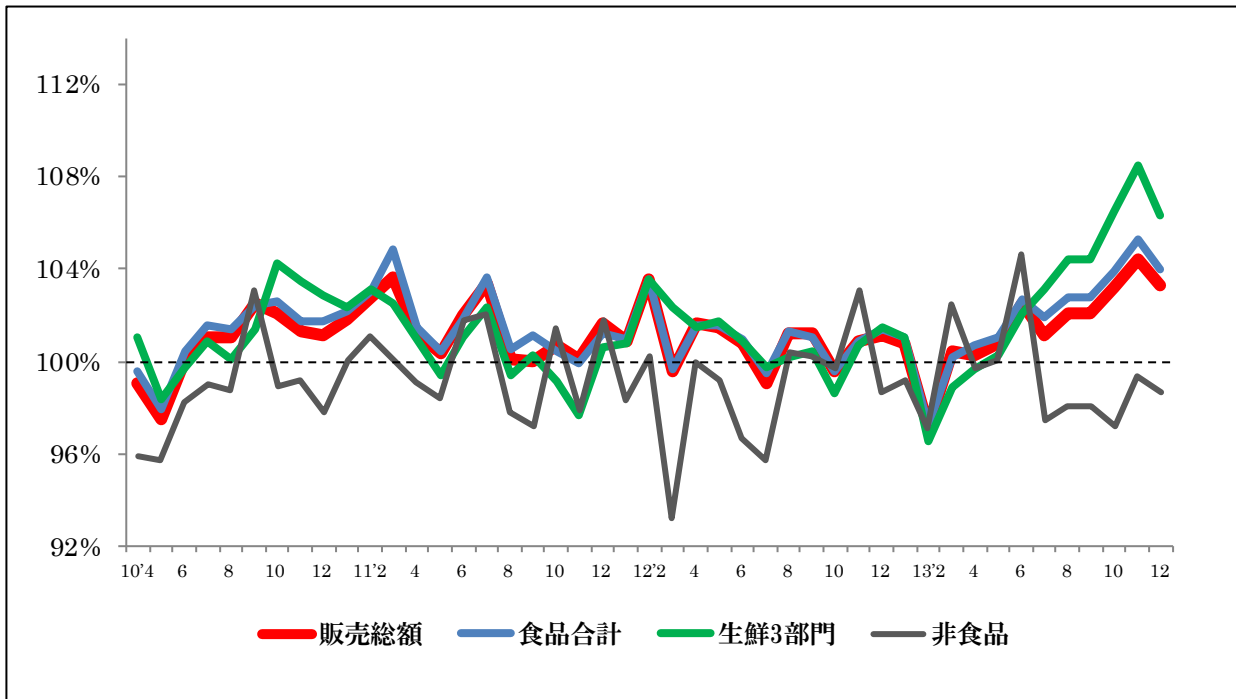
保有店舗数	全店売上高（万円）	集計対象企業数	前年同月比 （全店）	前年同月比 （既存店）
1～3店舗	11,742,455	65	97.1%	97.3%
4～10店舗	50,546,939	84	98.6%	98.3%
11～25店舗	139,549,646	77	99.7%	98.3%
26～50店舗	187,752,498	43	104.1%	99.2%
51店舗以上	558,830,312	37	101.7%	99.6%

※保有店舗数カテゴリーは2013年1月時点での保有店舗数による分類

集計企業数（社）	306	既存店総売上高（万円）	916,616,772
総店舗数（店舗）	86,601	店舗平均月商（万円）	10,952
総売場面積（㎡）	138,300,855	売場1㎡あたり売上高（万円）	6.9

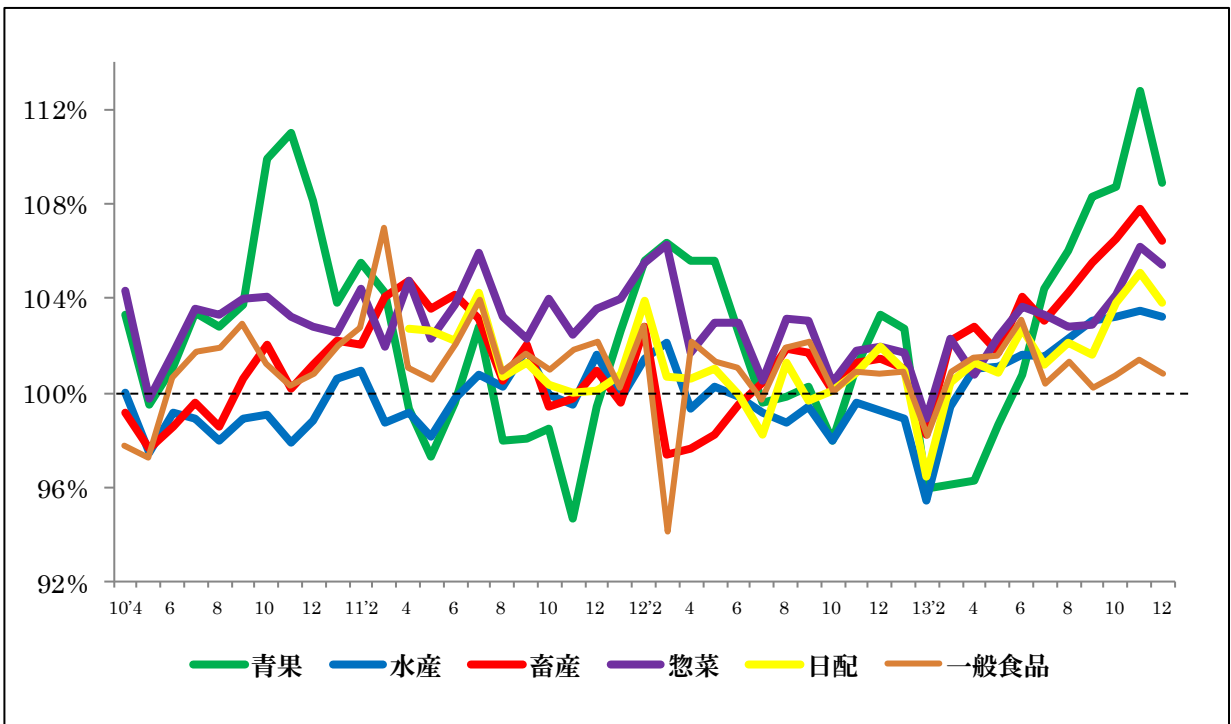
※売上高は千円以下、構成比・前年同月比は小数点第2位以下四捨五入

スーパーマーケット販売統計推移 2010年4月～2013年12月(全店ベース対前年同月比)
販売総額・食品合計・生鮮3部門・非食品



※2010年4月～2013年11月までは確報版による前年同月比、2013年12月は速報版による前年同月比
※2011年3月までは、「非食品」に「その他」を含む

スーパーマーケット販売統計推移 2010年4月～2013年12月(全店ベース対前年同月比)
青果・水産・畜産・惣菜・日配・一般食品



※2010年4月～2013年11月までは確報版による前年同月比、2013年12月は速報版による前年同月比
※2011年3月までは、「一般食品」に「日配」を含む

エリア別12月気候状況(平均気温・日照時間・降水量)

①平均気温

2013年12月(平年との比較)

北海道地方で月を通して高く、他地域では中旬から下旬にかけてやや低い地域が多かった

前年同月(2012年12月)と比較

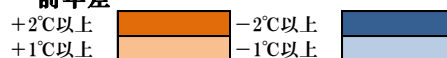
北海道地方は月を通じて前年よりかなり高く、他地域では上旬かなり気温が高くなった

	平年との比較(°C)						今年と前年との差(°C)		
	2013年12月			2012年12月(前年)			上旬	中旬	下旬
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			
北海道地方	2.0	2.6	1.0	-1.0	-0.2	-3.0	3.0	2.8	4.0
東北地方	0.8	0.0	0.0	-2.2	-0.2	-1.9	3.0	0.2	1.9
関東甲信地方	0.1	-0.4	-0.9	-2.0	-0.5	-0.9	2.1	0.1	0.0
北陸地方	0.5	-0.9	-1.0	-3.2	-1.0	-1.8	3.7	0.1	0.8
東海地方	0.0	-0.8	-1.1	-2.6	-0.7	-0.9	2.6	-0.1	-0.2
近畿地方	0.2	-0.9	-1.3	-3.0	-0.7	-1.4	3.2	-0.2	0.1
中国地方	0.2	-1.0	-1.5	-3.3	-0.9	-1.8	3.5	-0.1	0.3
四国地方	-0.1	-1.3	-1.7	-2.8	-0.4	-1.3	2.7	-0.9	-0.4
九州北部	-0.6	-0.9	-1.5	-2.7	-0.3	-1.4	2.1	-0.6	-0.1
九州南部・奄美地方	-0.8	-1.1	-1.9	-2.1	0.0	-0.5	1.3	-1.1	-1.4

平年差



前年差



②日照時間

2013年12月(平年との比較)

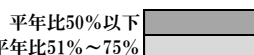
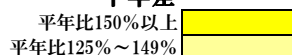
中旬西日本を中心にやや短くなったほかはほぼ平年並みであった

前年同月(2012年12月)と比較

全国的に上旬でやや長く、中旬でやや短く、下旬はほぼ前年と変わらなかった

	日照時間 平年比(%)						今年と前年との差(%)		
	2013年12月			2012年12月(前年)			上旬	中旬	下旬
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			
北海道地方	89	116	101	73	85	100	16	31	1
東北地方	106	89	82	79	107	89	27	-18	-7
関東甲信地方	116	84	109	99	114	75	17	-30	34
北陸地方	101	31	73	66	128	72	35	-97	1
東海地方	117	80	101	109	107	81	8	-27	20
近畿地方	129	68	101	96	96	77	33	-28	24
中国地方	101	63	78	86	107	71	15	-44	7
四国地方	115	70	98	83	101	77	32	-31	21
九州北部	108	66	79	74	102	59	34	-36	20
九州南部・奄美地方	128	60	96	68	90	82	60	-30	14

平年差



前年差



③降水量

2013年12月(平年との比較)

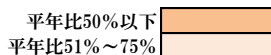
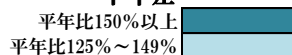
上旬は西日本でやや多く、中旬は全国的に多く、下旬関東で少ない降水量であった

前年同月(2012年12月)と比較

上旬は北日本で少なく、西日本で多く、中旬は東北・関東で多く、下旬は全国的にかなり少なくなった

	降水量 平年比(%)						今年と前年との差(%)		
	2013年12月			2012年12月(前年)			上旬	中旬	下旬
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			
北海道地方	128	109	100	304	150	109	-176	-41	-9
東北地方	55	337	66	190	99	138	-135	238	-72
関東甲信地方	53	253	38	61	30	349	-8	223	-311
北陸地方	103	140	129	193	72	137	-90	68	-8
東海地方	98	157	61	71	122	519	27	35	-458
近畿地方	153	127	143	84	144	419	69	-17	-276
中国地方	144	118	140	86	151	276	58	-33	-136
四国地方	194	220	113	70	170	478	124	50	-365
九州北部	102	182	66	79	212	374	23	-30	-308
九州南部・奄美地方	122	244	51	78	158	314	44	86	-263

平年差



前年差



気象庁ホームページより引用
平年値は過去30年(1981年~2010年)の平均
スーパーマーケット統計事務局作成

スーパーマーケット景気動向調査

1月調査結果(12月実績)

スーパーマーケット中核店舗を対象として経営動向や景気判断を調査し、月次でスーパーマーケット経営を取り巻く内外の環境変化を定量的に明らかにすることを目的としています。またスーパーマーケット販売統計調査における売上変動の要因について補足する役割を果たすことも期待しています。

【経営動向調査】

調査項目①

スーパーマーケット中核店舗における「売上」「収益」「生鮮品仕入原価」「食品仕入原価」「販売価格」「客単価」「来客数」について、前年同月及び前月と比較し「かなり増加」から「かなり減少」までの5段階で調査

経営動向調査 DI(Diffusion Index)の算出方法

回答構成比(%)に、以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+0.5・やや改善+0.25・変わらない±0・やや悪化-0.25・かなり悪化-0.5

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「0」

調査項目②

「青果」「水産」「畜産」「惣菜」「日配」「一般食品」「非食品」の各カテゴリーについて、当月における好調カテゴリーと不調カテゴリーとその要因を調査

【景況感調査】

調査項目

「景気状況」、「消費者購買意欲」、「周辺の競合状況」、「周辺地域の景気」について、2~3か月前と比較した現状及び今後2~3か月の見通しを「かなり改善」から「かなり悪化」までの5段階で調査

景況感 DI(Diffusion Index)の算出方法

回答構成比(%)に、以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+1.0・やや改善+0.75・変わらない+0.5・やや悪化+0.25・かなり悪化+0.0

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「50」

2014年1月21日

日本スーパーマーケット協会
オール日本スーパーマーケット協会
一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット景気動向調査に関するお問い合わせ
tokei@super.or.jp

I. 調査結果概況

景気判断 DI（現状判断）は 51.0 とプラス水準を維持も、先行き判断は弱含み

12 月スーパーマーケット中核店舗における景気判断は 51.0 と前月に比べてやや下降（-1.3）したものの、依然として判断の分かれ目となる 50 を上回っている。

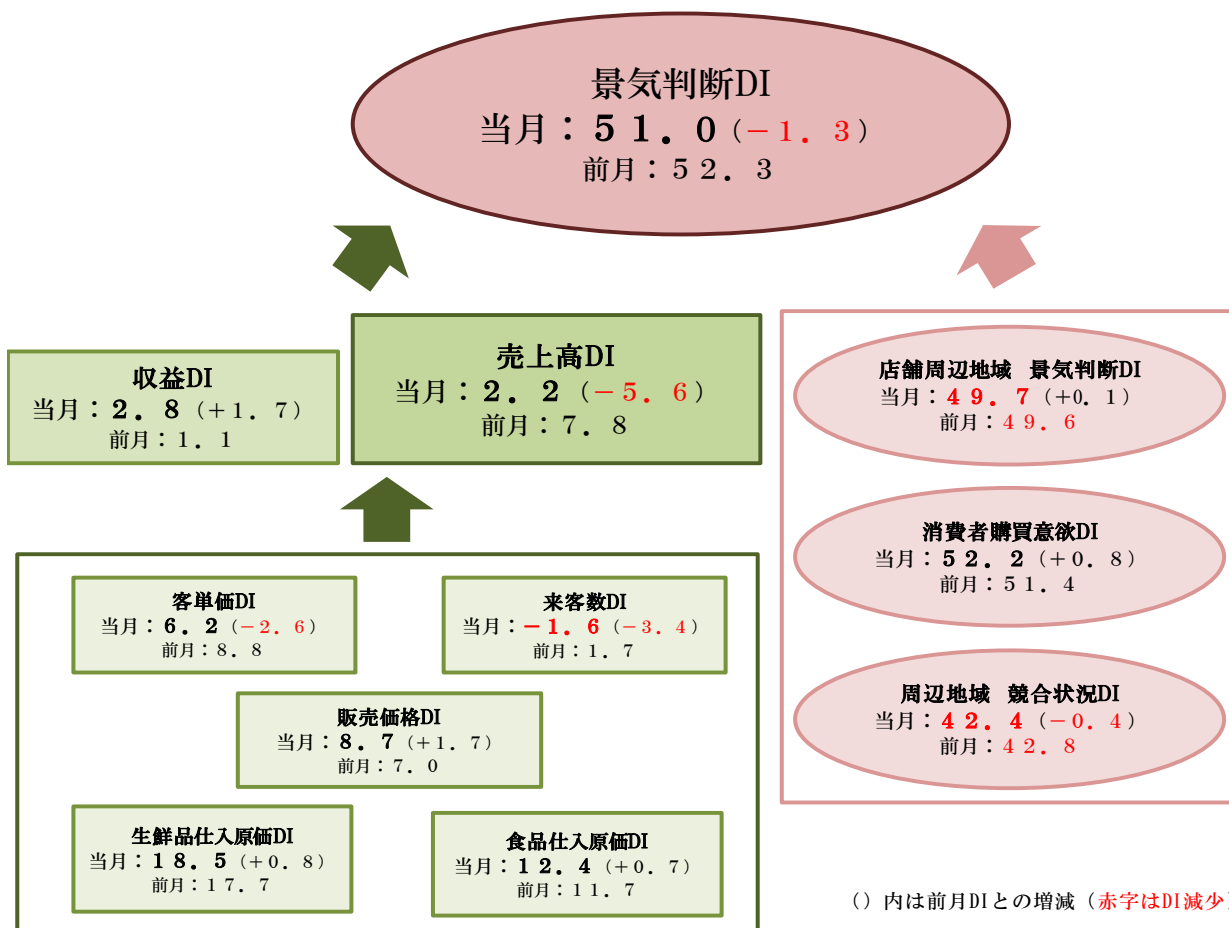
経営動向調査によると、前月により下降したものの（-5.6）の売上高 DI が 2.2 とプラスを維持している。一方収益 DI はわずかながら（+1.7）上昇し 2.8 となった。

仕入原価 DI（生鮮品・食品）に大きな変化は見られないが、販売価格 DI がわずかに上昇し（+1.7）8.7 となり、収益 DI に上昇に貢献したと考えられる。一方で来客数 DI が -1.6 と減少（-3.4）していることや客単価も 6.2 と高い水準ながら前月より下降したこと（-2.6）が売上 DI に影響を与えたと思われる。

景況感調査に大きな変化はみられないが、消費者購買意欲 DI が 52.2 まで上昇し過去最高値を更新している。先行き判断については一様に弱含みとなっており、現状判断との判断の乖離がやや広がる結果となっている。

2013年12月

スーパーマーケット中核店舗における景況感・経営動向



2013年12月キーワード TOP 3

1. 生鮮品好調(青果相場高)
2. 年末商戦(クリスマス)天候
3. 予約販売(ギフト・おせち・クリスマス)

スーパーマーケット経営動向調査

当月：12月速報版集計 228社
前月：11月確報版集計 264社

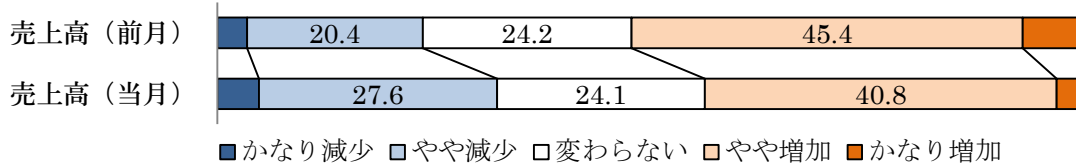
II. 調査結果詳細

1. 経営動向調査（前年同月との比較）

①売上高 DI

「やや増加」が減少し、「やや減少」が増加（DIは低下）

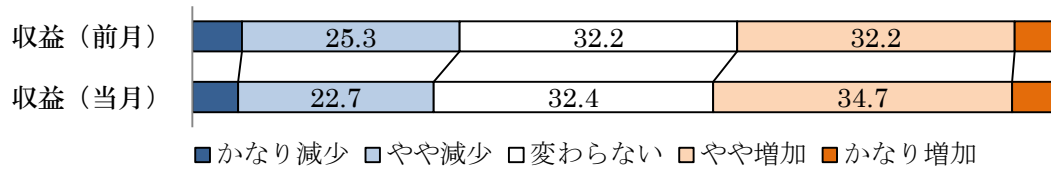
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
売上高（前月）	3.5	20.4	24.2	45.4	6.5	7.8
売上高（当月）	4.8	27.6	24.1	40.8	2.6	2.2



②収益 DI

「かなり増加」がわずかに増加し、「やや減少」が小幅に減少（DIは小幅に上昇）

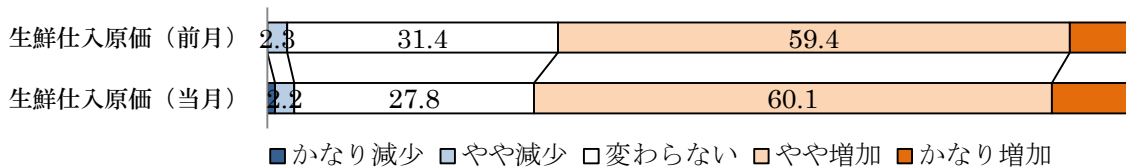
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
収益（前月）	5.7	25.3	32.2	32.2	4.6	1.1
収益（当月）	5.3	22.7	32.4	34.7	4.9	2.8



③生鮮仕入原価 DI

回答構成比に変化なし（DIは大きな変化なし）

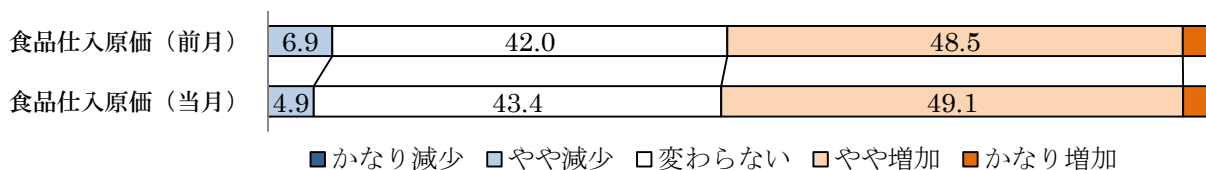
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
生鮮仕入原価（前月）	0.0	2.3	31.4	59.4	6.9	17.7
生鮮仕入原価（当月）	0.9	2.2	27.8	60.1	9.0	18.5



④食品仕入原価 DI

回答構成比に変化なし（DIは大きな変化なし）

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
食品仕入原価（前月）	0.0	6.9	42.0	48.5	2.7	11.7
食品仕入原価（当月）	0.0	4.9	43.4	49.1	2.7	12.4



⑤販売価格 DI

「やや増加」が増加し、「やや減少」がわずかに減少（DIは小幅に上昇）

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
販売価格 (前月)	0.8	11.4	48.1	38.6	1.1	7.0
販売価格 (当月)	0.9	7.9	47.2	43.7	0.4	8.7



⑥客単価 DI

「やや増加」が減少し、「変わらない」が小幅に増加（DIは小幅に減少）

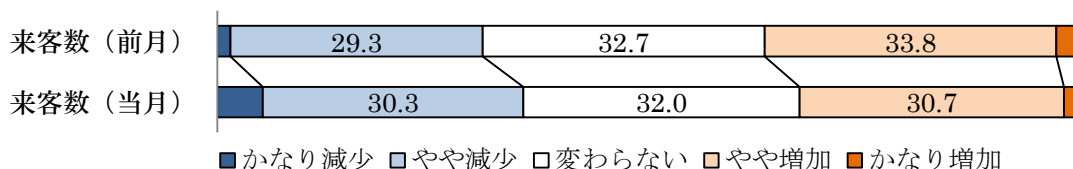
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
客単価 (前月)	0.0	13.3	38.8	47.1	0.8	8.8
客単価 (当月)	0.9	18.7	36.4	42.7	1.3	6.2



⑦来客数 DI

「やや増加」がわずかに減少（DIは小幅に減少）

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
来客数 (前月)	1.5	29.3	32.7	33.8	2.7	1.7
来客数 (当月)	5.3	30.3	32.0	30.7	1.8	-1.6

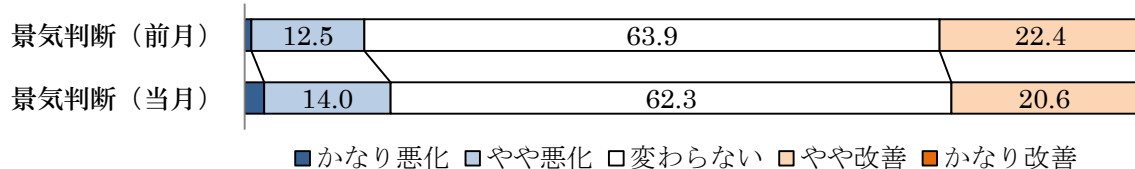


2. 景況感調査（現状判断：2～3カ月前との比較）

①景気判断 DI

回答構成比に変化なし（DIは小幅に下降）

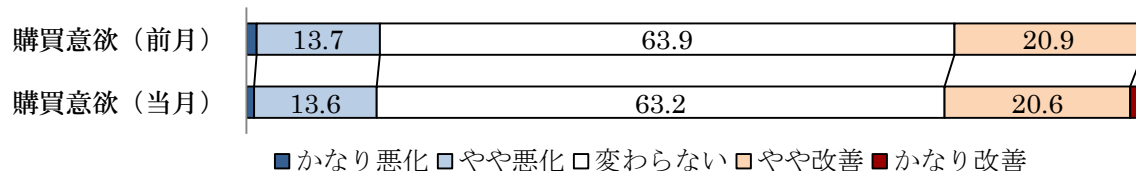
回答構成比（%）	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
景気判断（前月）	0.8	12.5	63.9	22.4	0.4	52.3
景気判断（当月）	2.2	14.0	62.3	20.6	0.9	51.0



②消費者購買意欲 DI

回答構成比に変化なし（DIは小幅に上昇）

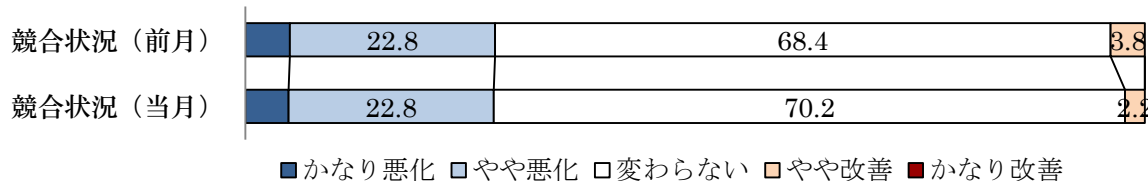
回答構成比（%）	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
購買意欲（前月）	1.1	13.7	63.9	20.9	0.4	51.4
購買意欲（当月）	0.9	13.6	63.2	20.6	1.8	52.2



③周辺競合状況 DI

回答構成比に変化なし（DIに大きな変化なし）

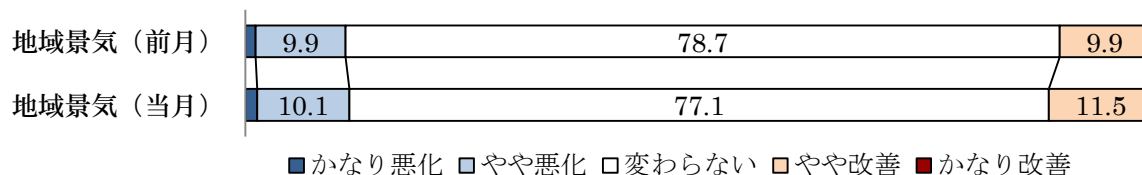
回答構成比（%）	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
競合状況（前月）	4.9	22.8	68.4	3.8	0.0	42.8
競合状況（当月）	4.8	22.8	70.2	2.2	0.0	42.4



④周辺地域景気状況 DI

回答構成比に変化なし（DIに大きな変化なし）

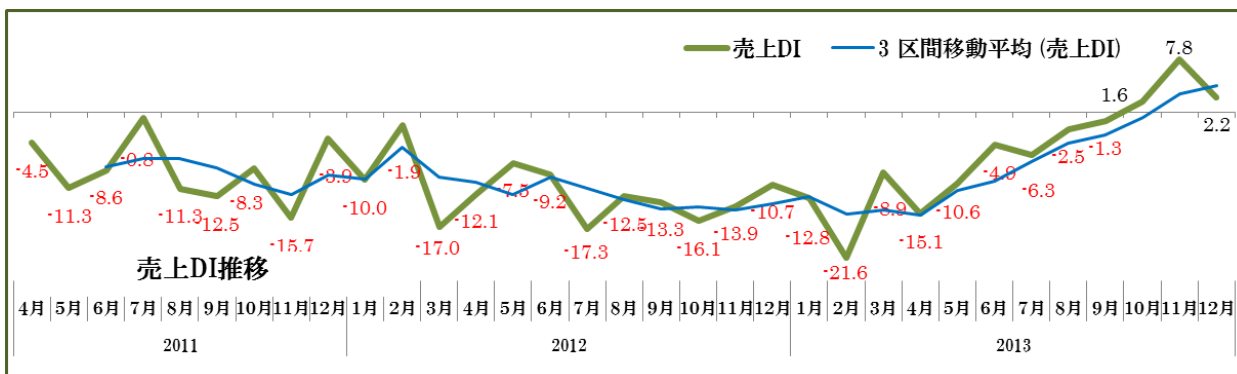
回答構成比（%）	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
地域景気（前月）	1.1	9.9	78.7	9.9	0.4	49.6
地域景気（当月）	1.3	10.1	77.1	11.5	0.0	49.7



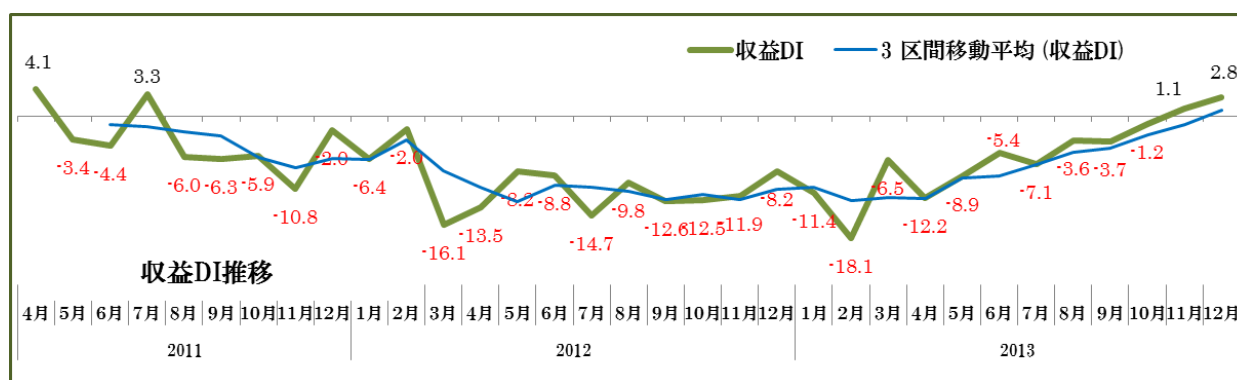
II. 調査結果推移 (2011年4月～)

1. スーパーマーケット経営動向調査

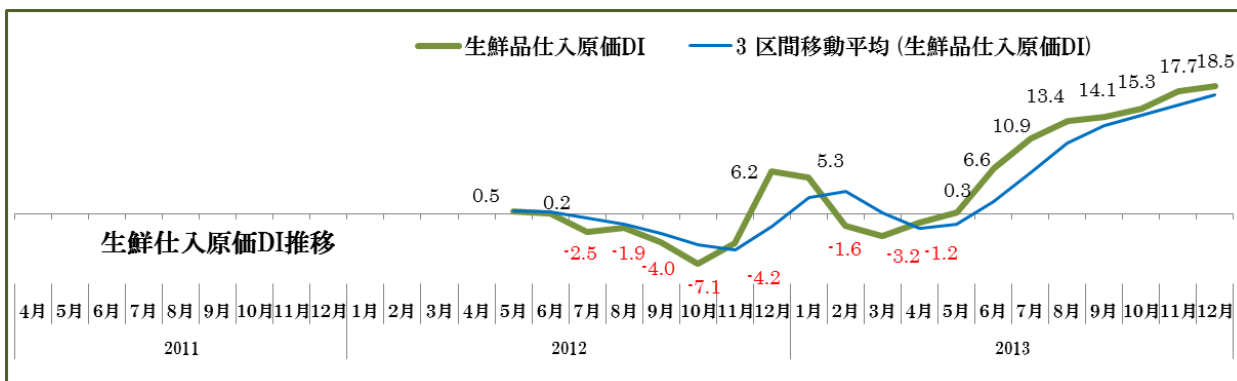
①売上高DI 上昇傾向一服も依然としてプラス値



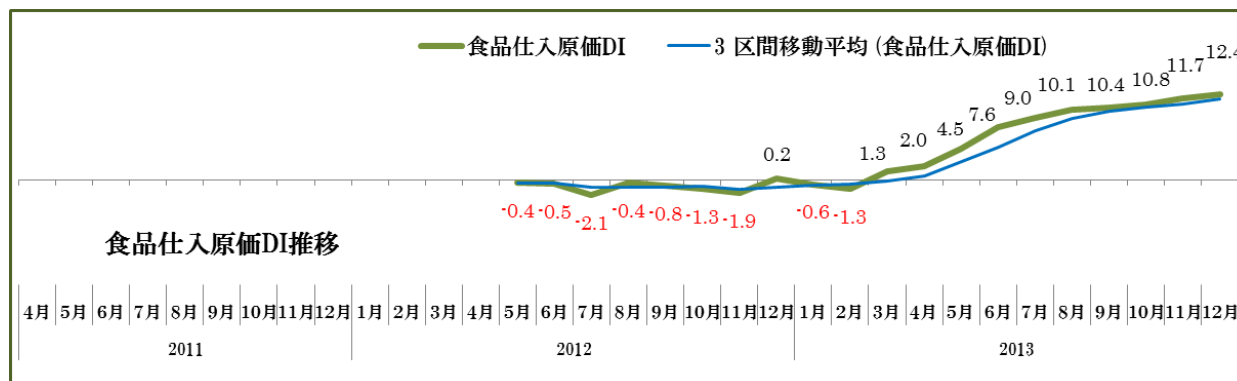
②収益DI ゆるやかな上昇傾向が続き DIはプラス値



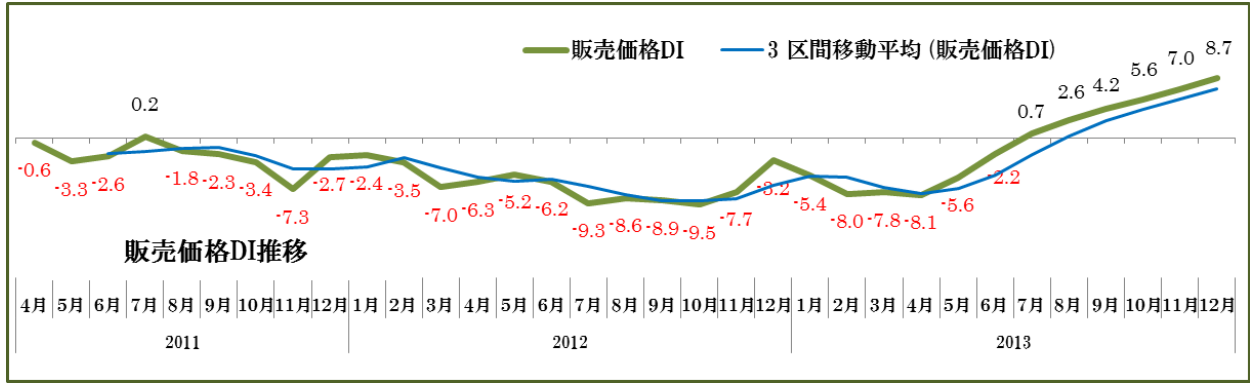
③生鮮仕入原価DI 急激な上昇傾向は一服も高止まり続く



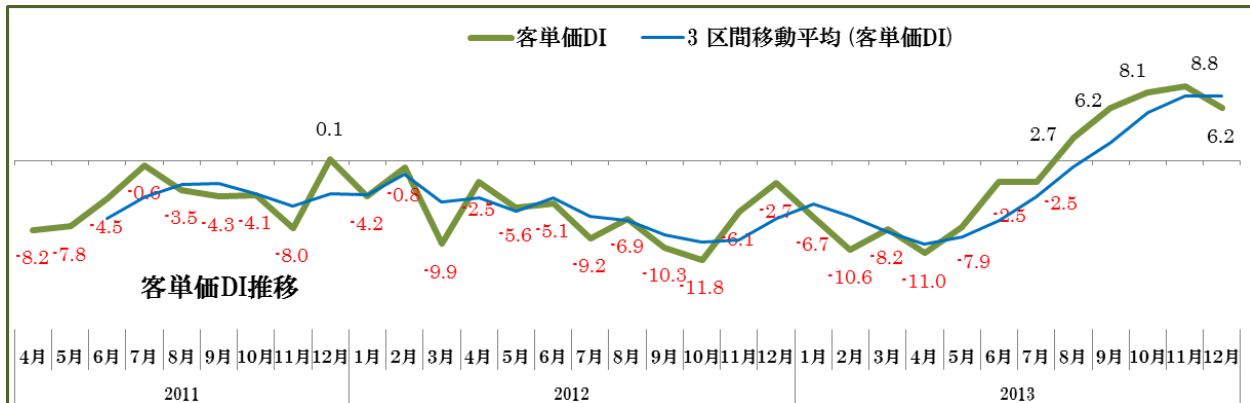
④食品仕入原価DI ゆるやかな上昇傾向続く



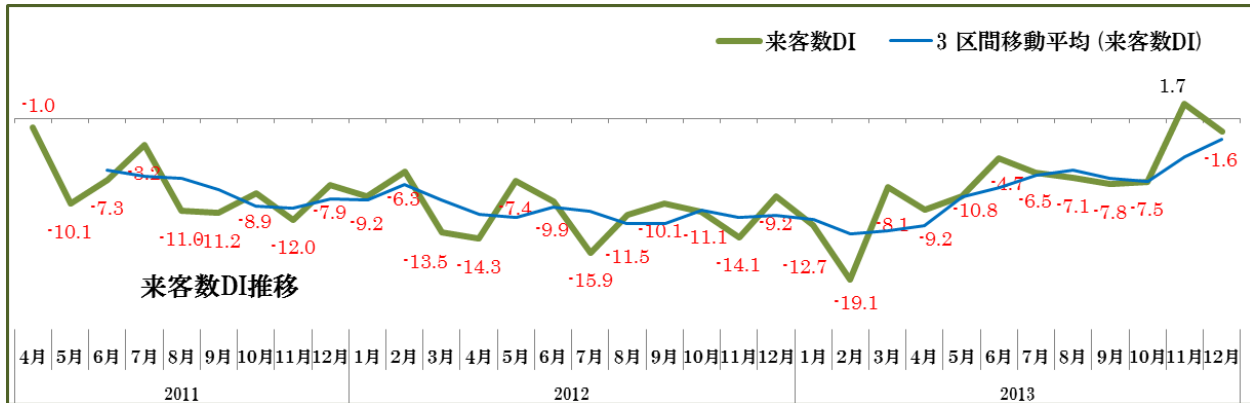
⑤販売価格 DI 4月以降緩やかな上昇傾向が続く



⑥客単価 DI 上昇傾向一服も依然としてプラス値



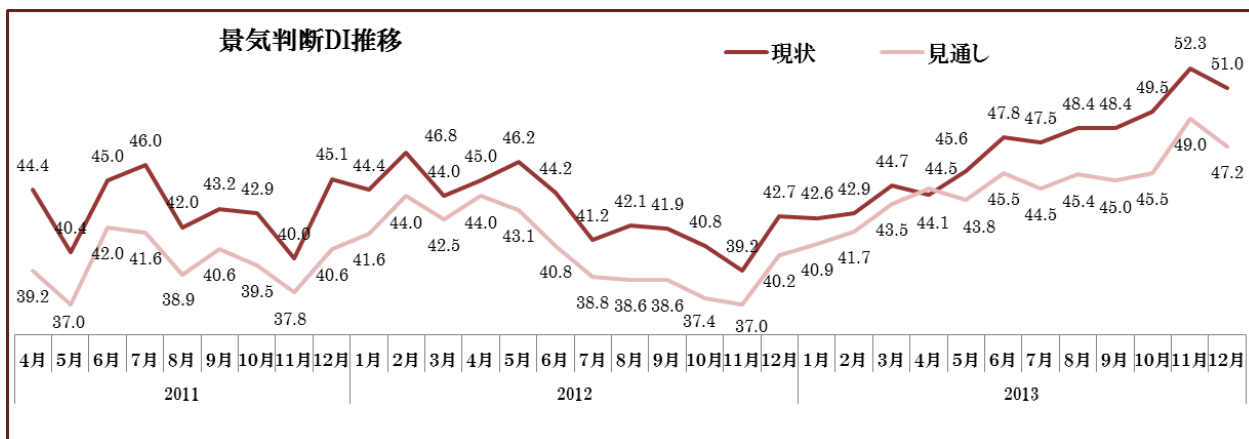
⑦来客数 DI 小幅に下降も高水準



2. スーパーマーケット景況感調査

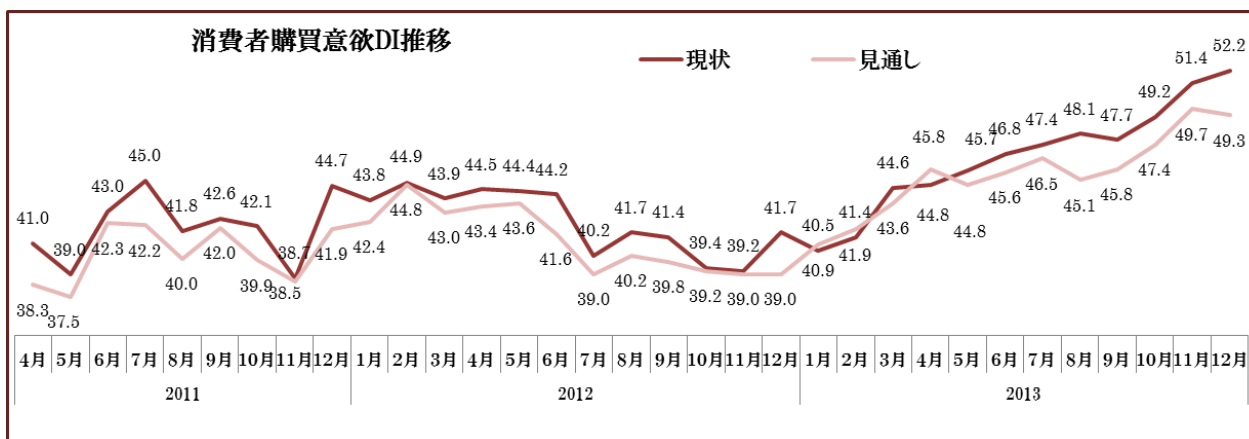
①景気状況 DI（現状判断・見通し）

現状判断、見通し判断共に上昇傾向一服も高水準を維持



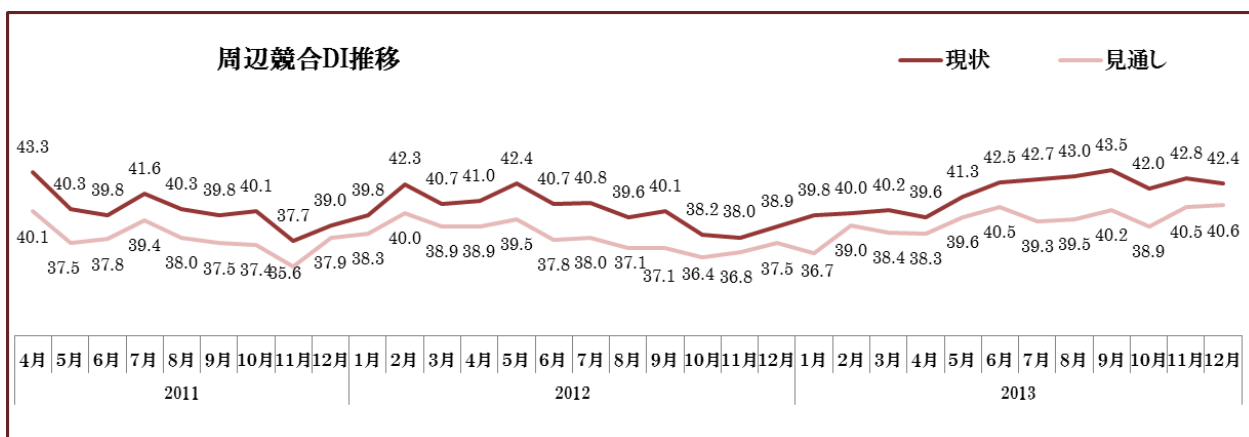
②消費者購買意欲 DI（現状判断・見通し）

現状判断は引き続き上昇傾向続き、最高値を更新、見通し判断の上昇は一服



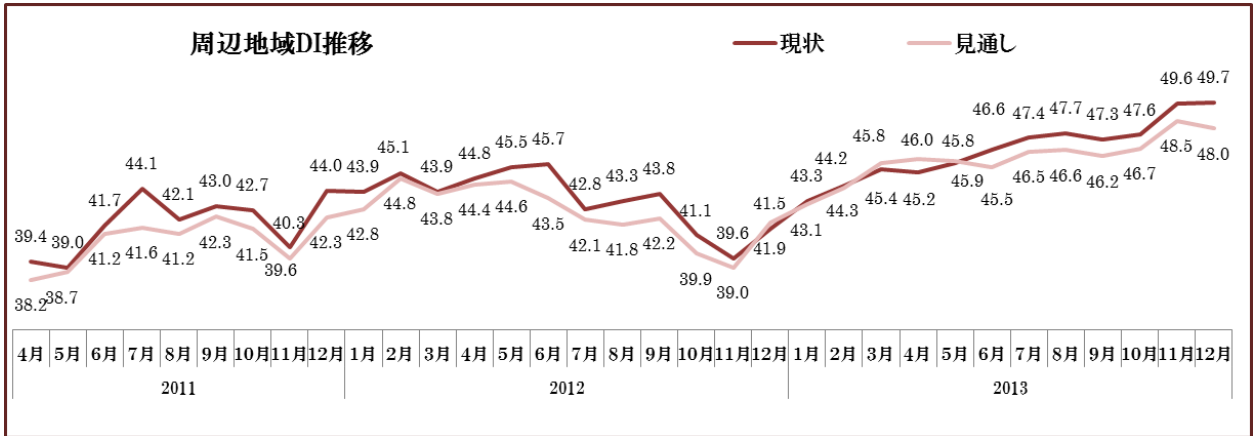
③周辺競合状況 DI（現状判断・見通し）

現状判断、見通し判断共に横ばい傾向が続く



④周辺地域景気DI（現状判断・見通し）

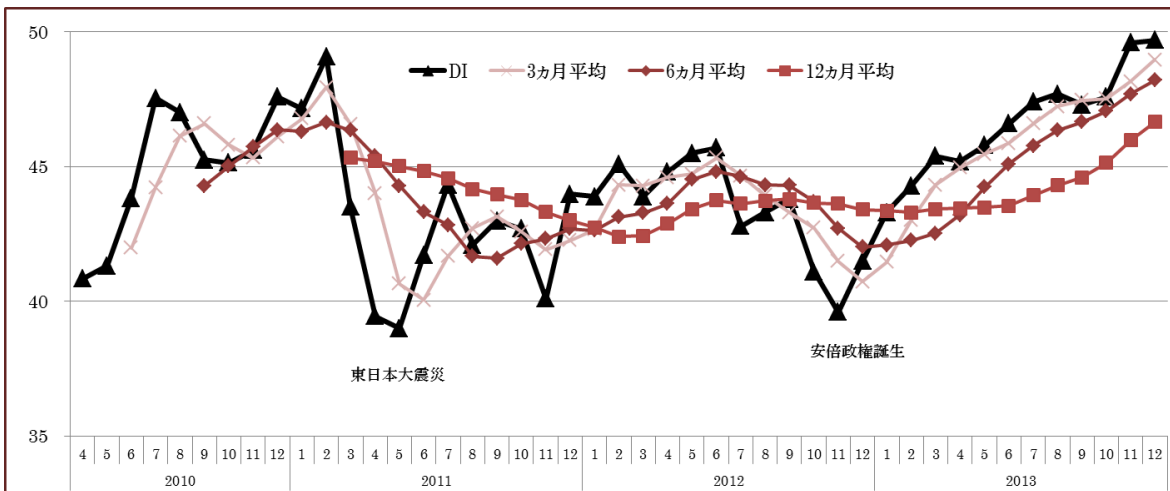
現状判断は横ばい推移、見通し判断やや下降



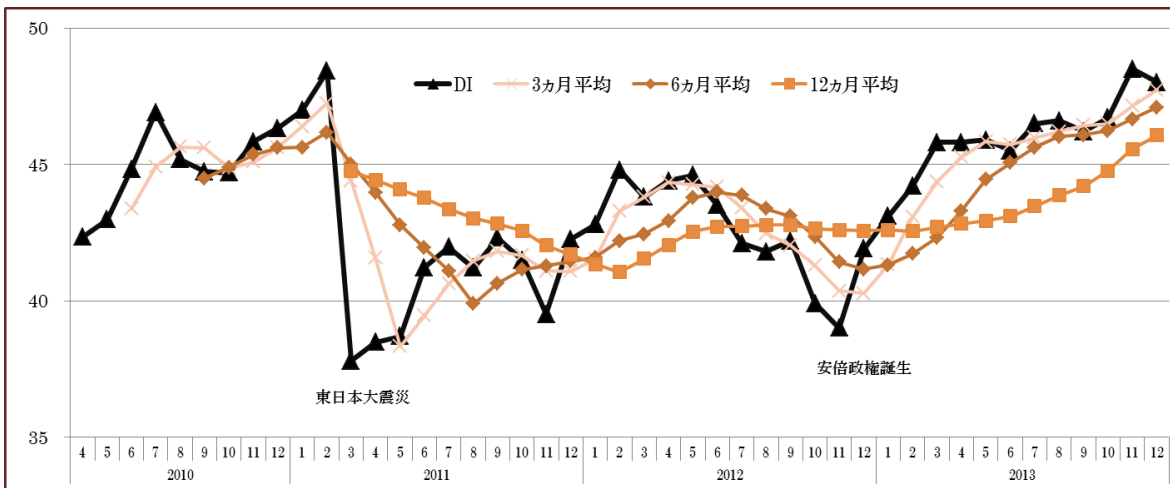
※移動平均（周辺地域景気DI 現状・見通し判断）

当月DIは現状判断が横ばい、見通し判断はやや下降しているが、どちらも各平均線ははっきりとした上向きの推移が続いている。2012年12月から上昇傾向が顕著にみられ、2011年3月の東日本大震災前の水準まで回復している。直近では現状判断に比べ、見通し判断上昇の勢いがやや弱くなっている。

①現状判断（中長期傾向）



②見通し判断（中長期傾向）

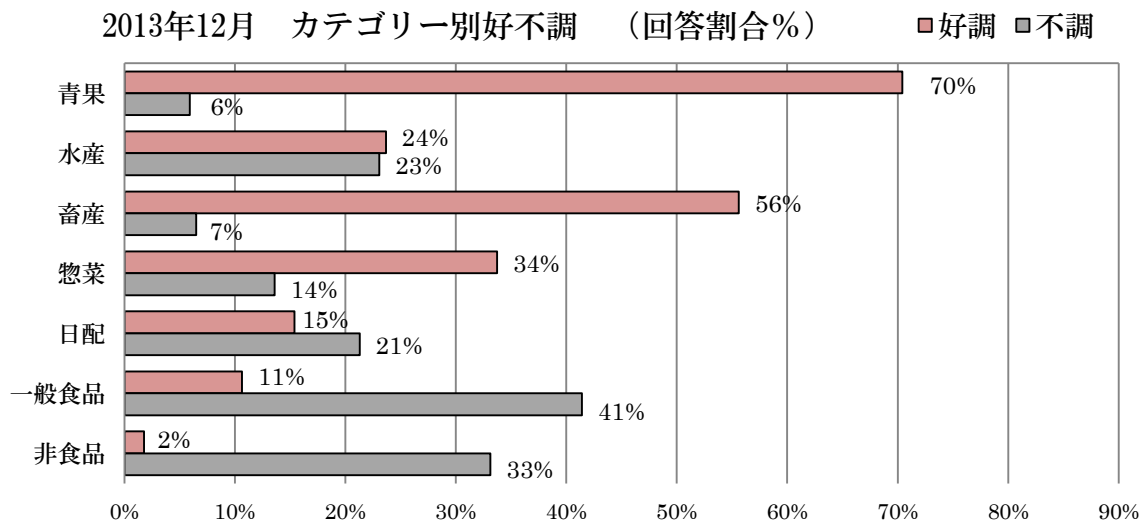


III. カテゴリー別動向

①好調カテゴリー・不調カテゴリー

好調回答割合上位カテゴリー：①「青果」②「畜産」③「惣菜」

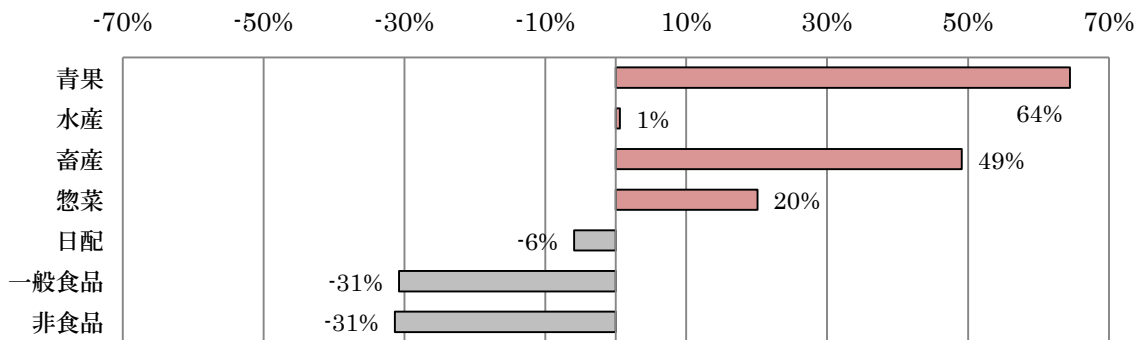
不調回答割合上位カテゴリー：①「一般食品」②「非食品」



好調% > 不調%：①「青果」②「畜産」③「惣菜」

好調% < 不調%：①「一般食品」「非食品」③「日配」

2013年12月 カテゴリー別好不調 (好調% - 不調%)



※N=167

②カテゴリー別主な好調・不調コメント

	好調コメント	不調コメント
青果	青果相場高(葉物)(みかん)(いちご)(カット)	(果物相場高)(柿)
水産	刺身(まぐろ)(えび)(かに)(塩鮭)	(相場高)(入荷減)(需要減)
畜産	牛肉、豚肉、鶏肉相場高	(加工肉)
惣菜	年末商材(寿司)(クリスマス)	(機会ロス)
日配		(冷凍食品)(鍋物商材)(他業態との競合)
一般食品		米相場安(酒)(価格競争)(飲料)
非食品		(ドラッグストアとの競合)

() は少数コメント